

# 新年に寄せて～支部長ご挨拶

## 北海道支部

### 森 操 HISホールディングス(株)



新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

会員企業の皆様におかれましては日頃より支部活動への多大なご協力ありがとうございます。

昨年は、大阪・関西万博の盛り上がりや記録的猛暑で国内最高気温を0.7℃更新。

夏の平均気温は統計開始以来最高でした。物価高で米の価格が前年比162%増、コーヒーも値上げで販売金額が急増。生活コスト上昇が大きな社会問題となりました。クマ被害が話題となり市街地出没が相次ぎ、人的被害や死者が最多となりました。政治では初めての女性首相が誕生しました。世界ではトランプ大統領再就任されトランプ関税で輸出関係で大打撃を受けました。長引くウクライナ戦争やガザ停戦など国際

情勢が揺れ動いた年でした。

今年も、人手不足の継続で更なるDXへの期待が高まると思われます。生成AIが加速的進化しており今後色々な分野で使われていくと思われます。

北海道支部の新年抱負としては、他支部との交流を積極的に行う事と色々なワーキンググループに参加したいと考えています。継続的に会員を増やす、支部会員の共創を進めて行きたいと思っています。

## 東北支部

### 堀内 忠夫 (株)コア



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。会員企業の皆様におかれましては日頃より支

部活動にご協力いただき心より感謝申し上げます。

昨年は生成AIが急速に普及した年であったといえます。ChatGPTやGeminiに

代表される大規模言語モデルが一般的な企業にも導入され、様々な業務の効率化が進みました。心強い道具であるとともに、脅威となっています。また、東北全域で熊の脅威にさらされた年でもありました。

これらの勢いは収まらず、さらに加速すると予測されています。特に、フィジカルAIによるロボットの自律動作は産業革命をもたらすとまで言われ、我々組込み業界のビジネス環境を大きく変えるものと考えられて

います。

本年は、こうした業界の変化を的確に捉え対応していくために、JASA会員が共創していくことが肝心と考えています。昨年からの引き続きとなりますが、良き支部の在り方を模索し、探索し、目指して参ります。会員企業の皆様も共に、地域交流を加速させ、コミュニケーションの機会を増やして、東北地区全域を活性化させていきましょう。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 関東支部

### ファンマヌエル エステベス ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)



謹んで新春をお祝い申し上げます。

年頭にあたり、会員企業の皆さまに謹んで新年のお慶びを申し上げます。

2025年は生成AIが産業界に本格的に浸透し、組込みシステムの世界にも大きなパラダイムシフトをもたらした年となりました。従来のルールベース制御に加え、学習型アル

ゴリズムが組み込まれた製品が次々と市場に登場し、私たちの業界は新たなステージへと進化しつつあります。

この技術革新の波は、同時に新たな挑戦も生み出しています。リアルタイム性や応答時間の予測可能性をどう両立させるか、限られたリソースでAI処理をいかに実現するか、そして何よりも安全性をどう担保するかといった課題に、業界全体で取り組む必要があります。さらに地政学的な緊張の高まりは、

半導体供給網の見直しや技術的自立性の確保を迫っており、中長期的な戦略の再構築が求められています。

こうした複雑な課題に対しては、一企業だけの対応には限界があります。だからこそJASAという場での情報共有や協業が重要性を増しています。関東支部では本年も、会員企業間の連携強化や最新技術動向の共有を通じて、皆様のビジネス発展をサポートして参ります。



## 中部支部

### 伊藤 秀和 東海ソフト(株)



新年、明けましておめでとうございます。

また日頃より中部支部の活動に対し格別なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて昨年度は従来の技術動向セミナー（今年度は生成AIとSDV）に加え各大学キャリアセンターとの情報交換会を開催しました。また喫緊の課題である技術者の流動性の高まりに対応するため人事制度の勉強会を企画し2月に開催予定であります。

中部支部では、今後も経営層間の情報交換だけでなく、こういった実務層の勉強の場を提供し、その輪を支部間にも拡充していきたいと思っております。

本年もよろしくお願いいたします。



## 近畿支部

### 塩路 直大 (株)Bee



2026年は本格的なAI時代の到来を実感する年となり、我々の業界も真の変化が求められる時代を迎えます。

昨秋発表されたJASAレポートでは、ソフトウェア駆動型社会の未来像が描かれ、これからのJASAと各企業が進むべき方向への提言がなされました。

JASA近畿支部は、これからも「使える

JASA」であり続けると同時に、ローカルな支部としての役割を地域にとどめず、JASA全体に還元できる存在を目指したいと考えております。具体的には、昨年から準備を進めてきた「インクルーシブIT研究会」にて、多様な人材が活躍できる環境づくりの研究を積み重ね、最終的には提言としてアウトプットする活動を推進します。

また、地方開催における展示会のあり方についてもワーキンググループを立ち

上げ、各支部へのフィードバックを行っていく予定です。これまで通りの活動としても、会員同士の交流促進を念頭に置いた各種セミナーや、企業の各層を意識した社員同士の交流会、懇親会を開催するほか、他支部のみならずJASA以外の地域団体との交流も積極的に進めてまいります。

2026年は先行きが不透明な分、新たな可能性に満ちたワクワクする年です。本年もJASAでの活動を共に楽しみましょう！

## 九州支部

### 白井 恵 (株)メック



皆様あけましておめでとうございます。穏やかでよいお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

組込みシステム業界においては、IoTデバイスや自動運転技術が今後も進化し、要求される機能が高度化して開発の難易度が上がっています。対応できる人材の不足も深刻になっていくと

思います。

こういった局面では、組込み技術を要素技術としてだけでなく、ネットワーク通信・クラウド・AIなど他の分野、技術と連携させ、新たなビジネス価値を創出しいかねばならないと思います。

さて、九州支部はまだ加入企業が少なく、メンバー増員が引き続きの課題です。支部会での勉強の機会を増やし、国や自治体の組織、地元の教育機関との連携をおこなうことにより知識

や技能を向上させる。さらに各社の業績アップに直接的につながるよう積極的に情報交換やマッチングをおこなっていくことを目標に掲げています。

そういった活動を続けていくことにより「JASAに入ってよかった」と言う方が増えれば、メンバーは自然に増えていくのではないかと考えています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

九州支部会員一同